

教 科	保健体育	科 目	体 育
履修条件 対象生徒	必修 デザイン科 3 学年		
学習目標	・生涯体育、スポーツの観点を重視し、自ら進んで運動に親しむ能力と態度を身に付ける。 ・体力の向上を目指し、お互いが協力、励まし合い、自ら進んで心身を鍛える態度を身に付ける。 ・健康、安全に関する基本的事項を理解し、生徒が発達段階に応じて、自ら進んで健康的な生活を実践する態度を身に付ける。		
学習方法	〔授業〕 準備運動として体操、補強運動、集団走を行い、協力する態度や規律について学習し、また基礎体力の向上を図る。主運動においては、それぞれの種目に対する個人的技能の向上やゲームを楽しむ態度や意欲を身に付ける。 〔補習・その他〕 ・見学時は、前もって授業担当者に申し出て指示を受けた内容を行う。 ・持久走期間に見学・欠席をした場合は、後日補習を行う。（やむを得ない事情がある場合は除く）		
学習計画 と ね ら い	体づくり運動 体育理論 ＜ 1 学期末考査まで＞ 陸上競技 選択球技 （バレーボール・サッカー・卓球） ＜ 2 学期末考査まで＞ 選択球技 （バドミントン・卓球） 陸上競技（長距離走） ＜ 3 学期末まで＞ 球技選択 （バレーボール・卓球）	○体ほぐし運動、体力を高める運動 ○豊かなスポーツライフの設計 ○自分の能力に合った運動 ○個人的技能 ○集団的技能 ○ゲーム、審判法 ○個人技能 ○集団技能 ○ゲーム、審判法 ○マラソン記録会に向け、自己の能力にあった目標や課題を決め、長距離走に取り組む。 ○個人的技能 ○集団的技能 ○ゲーム、審判法	
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	各種目の楽しさや特長について、説明ができる。 運動の多様性や必要性について、学習したことを伝えることができる。 各種目の基本となる運動ができる。	運動において、自己の課題を見つけようとしている。 自己やチームの課題について、よりよくなるための考えを話し合おうとしている。 よりより活動ができるように、計画的に活動している。	ルールを守って、自らが主体的に取り組もうとしている。 仲間やチームのことを考え、互いに協力しながら活動しようとしている。 危険の予測をしながら、自己や仲間の安全に留意している。
評価方法	○実技テスト、参加態度などを評価の対象とする。 ○準備等への取り組みや健康安全に対する理解などを評価の対象とする。		